



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要								
建物名称	ミネバアミツ川浜松工場内厚生棟(クラブハウス・社員寮 ODE線)建替工事			BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点*/満点		取組み度			評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5				ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5				ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5				がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5				ふつつ			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①断熱等性能等級4</li> <li>③レースカーテンとバルコニーで昼光制御</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦断熱等性能等級4</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②
				3.2	3.2.1	③
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④
				2.2.2	④	
			2.2.3	④		
			2.2.4	④		
			2.2.5	④		
			2.2.6	④		
	Q-3	1			⑤	
		3	3.2		⑥	
	LR-1	1			⑦	
		2			⑧	
		3			⑨	
		4	4.1		⑩	
			4.2		⑩	
	LR-2	1	1.1		⑪	
			1.2	1.2.1	⑪	
				1.2.2	⑪	
		2	2.1		⑫	
			2.2		⑫	
			2.3		⑫	
			2.4		⑫	
			2.5		⑫	
			2.6		⑫	
		3	3.1		⑬	
			3.2	3.2.1	⑬	
				3.2.2	⑬	
				3.2.3	⑬	
	LR-3	1			⑭	
		2	2.2		⑮	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点		3.1		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> <li>⑰耐震クラスA</li> </ul>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	
				2.1.2	⑯	
			2.4	2.4.1	⑰	
			2.4.2		⑰	
			2.4.3		⑰	
			2.4.4		⑰	
			2.4.5		⑰	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点		2.4		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	
		3	3.1	3.1.1	⑲	
			3.1.2	⑲		
	Q-3	3	3.1		㉑	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3	1			⑥	
		2			⑥	
		3	3.2		⑥	
	LR-2	2	2.5		⑫	
	LR-3	2	2.2		⑮	

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミネバアミツミ横浜松工場内厚生棟	階数	地上6F
建設地	静岡県袋井市浅名2134-244,2134-	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年6月25日
敷地面積	15,925 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社安藤・間 調 恒治
建築面積	780 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月25日
延床面積	3,856 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社安藤・間 調 恒治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外の	98%
④上記+	98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 寮生の快適性に配慮した階高設定、天井高さとする。 1階に厨房とラウンジ、ラウンジからバーベキューテラスや庭へ内外の連続性を持った開口部を設けることで、開放的な食事空間を設ける。また、基準階には談話コーナーを設け、寮生のコミュニケーションスペースとするなど、リフレッシュスペースを各階に配置した計画とする。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 居室について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 機械配管支持方法を耐震クラスAとするなど、建物のサービス性能の向上に務めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等性能等級4、住宅部分BEI=0.98、非住宅部分BEI=0.86としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS下地を採用している。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率98%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される